ふるさと大好き　すすんで勉強する子ども

一日一進

令和５年３月１８日　　飯豊町立第二小学校だより

卒業おめでとうございます

私が皆さんと出会ったのは、新型コロナの広がりによってこれからの生活がどうなるだろうと心配された３年前４月の始業式、そして翌日からの休業があけた５月でした。

１８人で普通の教室では

人同士の距離がとれないため、皆さんだけが他の学年と離れた多目的室での生活でした。他学年から隔離されたような寂しさをもちながらも、皆さんは仲間と一緒に学校生活を送れることを喜び、乾いたスポンジがみるみる水を吸収するように、勉強に励み、明るく、元気に過ごしました。それから３年、皆さんは第二小が大事にした、「気づき」「考え」「行動する」ことを学び、生活の中で具体的な行動に現してくれました。

今年も新型コロナウイルス感染予防の観点から、学校内外のいろいろな行事や生活に制限があり、「６年生になったらこう頑張ろう」と意気込んでいた皆さんにとっては不完全燃焼なことも多かったと思います。そんな中でも皆さんは学校のリーダーとしてその力を十二分に発揮しました。特に２学期以降は「豪雨災害で大変な思いをされている地域の皆さんを勇気づけられるのは私たちの元気な姿をお見せすること」と今まで以上に誠実に活動に取り組みました。

運動会では、新型コロナ感染拡大後から始まった全校ソーランの動きに精度を求め、さらにレベルアップさせました。同じく全校リレーでは組それぞれでメンバーの個性を考え、走順やバトンの受け渡しの場所等、組全員が力を発揮できるにはどんな工夫をすればよいのかを何度も「考え」「行動」しました。他にも、学習発表会で見せてくれた多様なＳＤＧｓの取り組みの提案、学校生活をより良いものにしようと一生懸命に取り組んだ児童会活動など、下級生のお手本となり、地域にも発信したすばらしい姿は数え上げればきりがありません。

さて、今日旅立つ皆さんに改めて言葉を贈ります。さらに「気づき」「考え」「行動する」人になってください。そのために、まず、気づく眼をもってください。

修学旅行前、皆さんと一緒に見学地ゆかりの源義経や松尾芭蕉のことを勉強しました。その時の山寺立石寺の不滅の法灯の話を覚えていますか？遠い昔から灯り続けているこの

灯火は油を足し続けることで消えずに続いています。油をきらすと大変なことになるという油断大敵という言葉の語源だと勉強しました。そしてその時に、油を継ぎ足す当番はなく、気づいた人が足しているという話をしました。

大事なことを忘れずに続けていくために役割分担は大切なことです。しかし、それ以上に分担があってもなくても、今、自分たちの周りに何が必要なのかに気づき、自分は何ができるかを考え、自分ができることは自分から行動することが大切なことなのです。

また、皆さんはこの３年間ＳＤＧｓを勉強してきました。

５年生では科学未来館とつないで世界規模で環境を守ることを勉強しましたね。修学旅行では最上川舟下り中や庄内の海岸沿いのゴミを目のあたりにしましたし、栽培漁業センターで見たサクラマスの稚魚を一ヶ月後に飯豊橋で放流しましたね。皆、ＳＤＧｓにつながる学習でした。去年８月の、経験をしたこともない豪雨とこの地区にもたらされたその被害、去年のクリスマスにはあれほど積もった雪がもう田んぼにはないという現実などは、まさに私たちが地球温暖化の目撃者だと言ってもいいのでしょう。

ＳＤＧｓは持続可能な社会を創るためのものです。皆さんは学習を進めていく中でたくさんの課題があることやそのためのたくさんの取り組みを知りました。私たちが集めているエコキャップがその役に立っていることや、スチール缶をすくすく保育園北の飯豊町福祉事業所「でんでん」に出すことは、リサイクルだけでなく福祉にも役立つことも先日のエコキャップ贈呈式で教えていただきました。

持続可能な社会を創ろうとする意思はあっても、その取り組みに気づかずに見逃していると行動は起こせません。まず、気づく眼をもとうとする心をもってください。

気づいた後には「自分は何をすべきか」「何ができるのか」を考えましょう。そして「行動を起こしましょう。」

誰かがしてくれるのを待っていたり、誰かに言われるまで待っていたりしていてはいけません。誰かにしてもらったことに気づかないのでもいけません。

６年間の思い出で多くの人が口にしている修学旅行や運動会・芋煮会を楽しめたのはなぜでしょう？誰に支えられた結果、誰の理解があったおかげなのかに気づく眼をもちましょう。そういった、物質ではない、目に見えないものにも気づく眼をもちましょう。

繰り返しになりますが、皆さんが今日まで立派に成長できたのは、いつも温かく見守り、支え、励ましてくださったご家族の皆さんのおかげです。そして、友達や先生方、地域の皆さんなど、周りにいる多くの方たちのお陰ですし、これからも、いろいろな方々にお世話になりながら生きていくことでしょう。そのことに「気づき」、感謝の気持ちを伝えられる人になってほしいと思います。

皆さんがこれから「気づき　考え　行動」しようとした時、もしかしたら周りの友人は気づかず、行動しないかもしれません。行動しようとするのはあなた一人かもしれません。そんな時はこの仲間を思い出し、行動を起こしてください。きっと支えになってくれるはずです。仲間が行動を起こしたとき、そのことに気づいてください。そして、その仲間を一人にせず、支えてあげてください。

第二小学校で「気づく眼」をもちはじめ、これからもその眼を鍛え、「考え　行動する」力をつけていく皆さんです。自信と誇りをもち、夢や目標に向かって最後まであきらめずに挑戦し、アンビリーバボーなほど大きく羽ばたいてください。応援しています。

＊アンビリーバボーは卒業生が学習発表会で毎年使っている定番のセリフです。

おめでとう

飯豊町「たいしたもんだプロジェクト」

算数難問クイズ

最優秀賞	1年	小島　幸音さん
優秀賞	5年	堀江　笑永さん
	6年	伊藤　咲弥さん
		伊藤　稜真さん
		井上　烈斗さん
		髙橋　頼叶さん
		新沼　瑛斗さん
		小方　愛唯さん
		菊地　蓮彩さん

西置賜地区児童生徒理科研究発表

入選　「鉄の釘が最初にさびる調味料は何か」

3年　山口　采希さん

「屋しき林のやくわりについて」

4年　渡部　結愛さん

「果物に隠された○○な効果！」

5年　新沼　絢斗さん

「デンプンはどの野菜にもあるのか

6年　伊藤　愛琉さん